

ほんごう

富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会会報

No. 15 2011年(平成23年)10月発行
〒939-8630 富山市本郷町13番地
富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会
発行責任者 石山 彰雄
印刷 / 株式会社 宮越印刷

ほんごう会大懇親会開催 (平成23年度総会)

場所 / 名鉄トヤマホテル

会費 / 30才未満及び女性 ￥3,000
30才以上の男性 ￥5,000
新卒者 無料

恩師の先生方にも御案内しています。

なお出席の方はメール、FAXまたは同封のはがきにて、**10月30日まで**にお知らせ下さい。

11月5日(土)

PM5:30～ 講演会
丁子副校長

PM6:30～ 懇親会(総会)

詳しくは富山高専 佐藤
TEL 076-493-5483

E-mail: sato@nc-toyama.ac.jp
または、同窓会メールまで
E-mail: info@tk-hongou13.net

多数の参加をお待ちしています。



関東支部同窓会開催

平成24年1月21日(土)

場所 / 品川プリンスホテル・アネックスタワー 1F

PM5:30～

「和食・ななかまど」

会費 / ￥8,000

詳しくは、同窓会メール

なお出席の方はメール、FAXまたは同封のはがきにて、**12月30日まで**にお知らせ下さい。

E-mail: info@tk-hongou13.net



御挨拶 — 国難の今、高専に求められるもの —

校長 米田政明

仲秋の候、富山高専同窓会の皆様には益々御健勝にて御活躍のこととお慶び申し上げます。日頃から皆様の母校富山高専に対して格別の御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

一昨年、昨年と2年続けて、本誌での御挨拶で「近頃の気象は異常です」と書きました。今年も早々と梅雨が明け、梅雨明け十日の真夏になり、昨年を上回る猛暑かと思わせましたが、実際はさほどでもありませんでした。そうこうする内に、9月に入って台風12号が発生し、日本を直撃しました。異常なほどの「大型のろのろ台風」で紀伊半島を中心に大雨となり100人を超える死者、行方不明者が出ました。気象も異常ですが、地球全体が軋んでいるように思えます。3月11日に死者・行方不明者が2万人に及ぶ未曾有の国難とも言える東日本大震災が起きました。宮城県石巻市出身の私は、しばらくテレビに釘付けになり、3階建てか4階建てのビルの屋上に打ち上げられた船に「こんなことが起きるのか」と何度も目を疑いました。その後、現地を訪ねる機会があり、廃墟と化したそここの街並みに改めて唖然としたものです。

高専機構傘下の高専でも、仙台高専、一関高専、茨城高専、福島高専などが被災しました。直ちに、高専機構というネットワークを使って物的支援が行われ、また本校の学生も参加した義援金の募集が行われました。震災から半年経った今は、不十分ながら、被災高専も落ち着きを取り戻していると聞いています。

「頑張ろう、ニッポン」を合言葉に一日も早い復旧・復興が待たれます。また、如何にすれば、このような被害を最小に抑えることができるのかの議論も始まっています。ここに、高専の役割・存在価値（プレゼンス）があると思います。「独創性に富む実践的技術者」を育成するのが高専です。高専の教員、卒

業生が復旧・復興や被害最小化（減災）に役立つ技術シーズを数多く持っています。是非、全国51高専を結ぶネットワークを活用して、これらの技術シーズと高専学生・高専卒業生の高いモチベーションを活かして行きたいと思っています。

また、高専には原子力人材育成のプログラムがあります。本校の学生も多数このプログラムに参加しています。福島第一原発の事故はありましたが、今回の事故を教訓として安全性を格段に高め、日本の電力事情改善のための技術力をバックアップする。これも高専の大きな役割になるのではないかと考えています。

最後に、平成21年10月に富山商船との高度化再編・統合によって新たにスタートした富山高専は、現在1期生が2年生になっています。高専機構からは、スーパー高専として東海・北陸地区のまとめ役を期待されており、教職員・学生一丸となって努力をしているところです。

特に、「地域に愛される高専」として、地域人材開発本部（地域イノベーションセンター、教育技術センター、国際教育センター）の活発な運営に力を入れているところです。中でも、黒部、射水両市と包括的協定を締結して、今後の連携を一層深めること、また、高専の学生に海外インターンシップを体験させるための環境整備（引き受け現地企業の開拓）に努めるなど、グローバル化に対応した人材育成に力を注いでいます。

「創意・創造」、「自主・自律」、「共存・共生」を教育理念に掲げ、魅力ある高専に成長するよう、教職員・学生心を一つにして努力して参りますので、同窓会の皆様には引き続き御理解と御協力・御支援を賜りますよう御願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。



同窓会活性化のために

同窓会長 石山 彰 雄

同窓会々員の皆様方におかれては、御健勝でお過しのことと存じます。

私が同窓会長に就任して早や20年になろうとしています。

当然ながらこれまでに20回近い同窓会総会（ほんごう会大懇親会）を実施してまいりましたが、出席同窓会員は、ほぼ30名～40名で安定（??）しています。寂しい限りですが、4000名余りの卒業生がありながら1%の出席率を保ったままです。

しかし、昨年は1回生の方々にも数多く出席して頂き、大変、心強く感じることができました。

1回生の方は既に62・63才ですので悠々自適の方もおられると思われまますから是非、同窓会に積極的に参加頂き激励を賜りたいものと思います。

本年は、第3回目の関東支部同窓会を平成24年1月21日（土）東京、品川プリンスホテルにて開催することとしています。関東支部長は、御存知のとおり1Mの長谷治男さんですので、是非、多数の方の御参加をお願いします。

尚、富山高専本郷キャンパスの同窓会総会は、11月5日（土）名鉄ホテルにて開催しますので、こちらも是非、御参加下さい。

富山高専は商船との統合により地域産業の活性化のためなどに教職員共頑張っていますので、同窓会も技術振興会などの力を借りながら積極的に支援することとしています。

又、11月19日（土）には、第3回となる全国高専同窓会連絡会が東京にて開催されます。

1回・2回は、全国同窓会の状況伺いの様でしたが、今年は正式に組織作りをして、全国同窓会連絡会としての体裁を整える時期だろうと考えています。

なぜ同窓会連絡会が必要なのかは、賢明な同窓会員には当然に理解されるでしょうが、「物づくり日本」の中核を担う高専制度でありながら、正式に正当な評価がなされていない若しくはなされにくいという点が明らかにあります。

これらの点の改善を要望する責任は同窓会にあることは、はっきりしていると私は考えます。そこで全国の同窓会が一堂に会し、このことを検討、協議し合うことが是非、必要だろうと考えています。

これらのことを含め、いろんな意味で同窓会を盛り上げて頂きますようよろしく御協力下さい。



定時理事会（23.6.25）



富山高専・後援会・同窓会の懇談会（23.9.2）



平成23年度 富山高専同窓会事業計画案

同窓会が、会員に身近なもので、気軽に参加できる体制作りと在校生を含めた広報、P.R.活動を積極的に実施する。

又、後援会及び学校側と共に富山高専のより良い伝統の構築を目指して活動する。

産学連携の特徴である技術振興会のP.R.と支援。

統合後の高専の同窓会として体制を確立する。

具 体 的 事 業

1. 総会・理事会・常任理事会の更なる活性化
理事・常任理事等役員には、それぞれの立場での自覚を促すと共にきめ細かい出席要請を実施する。

今年の総会開催予定日である11月3日(文化の日)は、週半ばなので、11月5日土曜日の開催とする。

例年どおり、総会に先立ち講演会を実施する。

2. 第3回目の関東支部同窓会を開催する。

3. 会報の充実

会報編集委員会の充実により、より親しまれる会報を目指す。

4. クラス会・クラブOB会活動への助成

同窓会活動の活性化につながるクラス会・クラブOB会開催に対し助成する。

助成金(1万円)の拠出条件

- ① 10名以上によるクラス会・クラブOB会の開催
- ② 写真と会報用の簡単な原稿を提出
- ③ クラス代表(理事)・クラブOB会代表からの申請(年1回のみ)

5. 富山高専・後援会・同窓会の三者懇談会の開催

年間行事の打合せ等、情報の交換により、富山高専のより良い伝統の構築を目指して活動する。

6. 卒業・修了式後の祝賀壮行会の共催

後援会との共催、学校の協力により祝賀壮行会を例年どおり実施し、同窓会の卒業生に対するP.R.そして積極的な参加を訴える。

7. 在校生・学生会への積極的助成

在校生に活気を与える積極的な助成を考慮してゆく。

8. ロボットコンテストへの助成

富山高専のロボットコンテストにおける成績向上を

目指して同窓会としてできる支援を考慮する。

9. 在校生への講演会の実施

卒業生の社会での活躍をじかに感じてもらい、同窓会をP.R.する。

10. 全国組織への積極的参加

「ヒューマンネットワーク高専」及び「全国高専同窓会連絡会」と連携し情報の伝達を行う。

11. 富山高専技術振興会のP.R.と支援

技術振興会の設立趣旨を会員に広くアピールすると共に同窓会員も積極的に振興会へ参加してもらう様広報する。

技術振興会の事業に対しても積極的に参加する。

同 窓 会 役 員 名 簿

	回 生	氏 名
会 長	M 3	石 山 彰 雄
副 会 長	M 4	丸 山 治 久
副 会 長	M 6	布 村 敏 夫
常 任 理 事	E 5	山 田 直 樹
"	M 8	宮 越 成 幸
"	K 8	奥 野 耕 市
"	C 10	打 出 孝 彦
"	E 21	長 田 晃
"	C 11	伊 藤 通 子
"	E 15	佐 藤 圭 祐
"	K 11	井 上 誠
関 東 支 部 長	M 1	長 谷 治 男
監 事	C 3	米 谷 正
"	M 14	本 江 哲 行

会員のひろば クラス会・OB会情報

E3同窓会@奈良・和歌山

昨年還暦祝で久しぶりに1泊クラス会を開催したところ、毎年やろうとの意見となり、今年は2泊でのクラス会を実施しました。7月16日(土)~18日(祭日)で場所は奈良・和歌山。メンバーには関西在住者もいるので奈良・京都の案がでましたが、当日は京都祇園祭の日と重なり、奈良・和歌山に決定しました。

初日は、宿泊先である奈良万葉若草の宿「三笠」に集合しました。関東組は6人でマイカーに分乗、北陸組は8人でレンタカーとマイカーで、関西組は2人でマイカーにて、合計16人の出席となりました。「三笠」は奈良奥山ドライブウェイ山頂にあり、当日は天気もよくて抜群の景色でした。今回のクラス会では、卒業以来41年間長らく音信不通だった仲間が参加してくれたこともあり、宴会では昔話や近況報告で大いに盛り上がりました。

翌日は、直ぐ近くの東大寺で奈良の大仏見学など、有名どころのお寺巡り。天気が良いので暑かったのですが、皆さんとても元気でした。

二日目の宿は和歌山の宿坊「福智院」。高野山にあるお寺ですが、高野山で53もある宿坊の中、5,000坪の敷地に70の部屋をもつ高野山最大の宿坊として、800余年に渡る歴史を積み重ねている名刹です。温泉付きもありがたい。宴会も可能で、般若湯(日本酒のこと。お寺で使う隠語です)ま

では知っていましたが、ビールは麦般若湯か泡般若湯との事でした。また何人ものネパール女子留学生が、アルバイトで給仕しているのには驚きました。因みにヒンズー教だそうです。「福智院」では、夜の写経や、朝のお勤め読経もできるのですが、夜は宴会、朝は「なでしこジャパン」の優勝テレビ観戦で、信心薄き俗生の輩、参加率は低かったです。還暦過ぎたオヤジ連中、修学旅行宜しく夜遅くまで部屋で飲食していたら、お坊さんに一喝! シュンとなって皆就寝。

三日目は朝から台風の大雨。高野山の金剛峯寺は雨で見られなかったのが残念です。しかしさすがに宴会と運転疲れで、その日は直接帰路に。往復で、関東組1,400km、北陸組1,000kmの長旅でした。

来年は、東日本大震災復興祈念「平泉&乳頭温泉」をやろうと張切っています。

参加者

北陸組：上田、金尾、川原、澤田、高田、館谷
中島潔、吉崎

関東組：大石、熊本、安森、横山、米田、野村

関西組：嶋、白川

報告者：川原久雄



恒例 C10 同窓会 (23年度)

今年もお盆の休みにC10のクラス会を開きました。昨年は6人と寂しいクラス会でしたが、今年は11人と少し増えました。

場所は、郷土料理の十々八で お盆休みの前半である8月13日(土) 18:30からです。

集まったのは毎年同じメンバーなのですが、今年は、某製薬会社で重役になったO君やクラスのマドンナ?であるHさんの参加があり、例年とは違う話で盛り上がりました。

毎年のことなのですが、今年もH君のものまね芸人のコロッケのなりきり芸で大変盛り上がりました。

今回は、定年後の話がちやほや出てきました。F君の会社では55歳定年とのことで、現在54歳なので定年が秒読みになってきており「定年後どうするかな～」とぼやいていました。

Wくんの会社は、60歳定年ですが、定年後は食品関係の仕事をしたので今から健康食品など勉強しているとの事です。

昨年同窓会の1ヶ月前に胃潰瘍の緊急手術をしたA君は、1年たちすっかり回復していました。

皆50歳半ばで、まだまだ元気ですが、「無理が利かなくなった」「疲れが取れない」「精神的プレッシャーがあり夜も眠れない」などなどぼやきが多々有りましたが、年に1度のクラス会で気持ちが楽になり、来て良かったとの話が多くありました。

来年は、私とO君が幹事で、クラス会を予定しています。

C10の多数の参加をお待ちしています。



平成23年度 弓道OB射会・懇親会

今年も弓道部のOB射会ならびに懇親会をお盆の8月13日に高専の弓道場で行いました。

射会のほうはお盆期間のご多忙の中OB13名、現役7名のたくさんのご参加、誠にありがとうございました。また、夜にはとりあえず吾平富山駅前店で懇親会を行いました。今年度は企業の節電シフトもありOBの参加は学生が多く、若返った感じがしました。

来年度からは幹事も代わり弓道部のOB射会、懇親会を行うこととなりますが、弓道部OBの皆様のご参加をお待ちしております。

なお、来年度の開催は8月11日(土)を予定しています。



K32 長木 聖和



金属工業化第14期卒業生同窓会を終えて

平成23年8月14日(日)曇り 富山名鉄ホテル 午後6時30分開始前回の同窓会から5年がたち卒業して25周年(45歳)を迎えました。卒業生42名のうち今回20名の参加者で残念ながら恩師の浦井先生はご都合が悪く出席されませんが、参加者の顔ぶれは在学当時の面影とかわらず(多少白髪混じりやおでこが広がっているかたもいらっしゃいましたが)元気いっぱい好青年でした。

世話人代表の高柳真一君が開会の挨拶をし、小林裕二君の乾杯で懇親会は盛大に始まりました。申し遅れましたが私、司会を務めました藤井といひます。

当ホテルの福寿林という場所を借りてそこには3つのテーブルがあり 事前にくじで席を決め中華料理を囲みながら昔の話や近況の話などで華が咲いてみなさんお酒も良く飲まれていました。記念撮影を終え懇親会も中盤に差しかかり、あちらこちらで盛大な話し声が飛び交い今にも会場から飛び出ん勢いになりつつあったので、中締めを世話人の一人の平等政樹君にしてもらい、みなさんの要望もあり2次会の会場へ場所を移すことになりました。

富山の町はお盆ということもあり、あまりお店が営業していない(日曜日なので)なか収まりが付かないことを予定して事前に知り合いのお店を無理を承知で営業して頂いたママさんに感謝しつつ気

が付くと18名が2次会へと流れ込んできました。(本当は30名連れてきますと豪語したんですがママさんすみません)場所が変わっても先ほどの盛り上がりはうせず一段とヒートアップしていき、誰のカラオケも聞く耳はもたず、曲が終われば一応拍手はあったようです。

時間が経つのは早いもので、時計を見るともう12時近くになっていました。誰も帰ろうとしないので、お店の時間もあったので、名残惜しい面も多々ありましたが次回の同窓会(5年後)の再会を期してお互い握手を交わし、9名は当名鉄さんに泊まり自宅に帰る面々はタクシーを呼び解散いたしました。

社長業、販社長、部長、課長、係長、主任さまざまな場所で高専卒業生が世界で活躍しているのだと実感し、5年間一緒に過ごした仲間は永遠の友達、一緒に過ごせてよかったとつくづく思いました。

幹事 藤井 義昭



同窓会助成部活紹介

平成23年度 ロボコン報告

同窓会会員の皆様、日々のロボコン活動に対しますご理解と多大なご支援のほど、感謝申し上げます。本郷キャンパスメカテック部顧問の金子(電気制御システム工学科)です。今年の地区大会は10月30日(日)、岐阜県岐阜市で開催されます。地区大会としては最終組ということで、他地区よりもロボットの製作、調整に多少余裕があると勘違いしているためか、例年よりも若干のんびり感が漂う中で製作は進行しています。

今年度の競技テーマは『ロボボウル』。アメリカンフットボールをモチーフに、オフェンスの2足歩行ロボットと、ディフェンスの移動ロボット2台によるバトルがテーマとなっています。扱いにくい形状のアメフトボールを如何にハンドリングするか、またオフェンスロボ、ディフェンスロボをどのような戦略の基に運用するか、例年のことではありますが「想像としてのアイデア」と「現実としての製作」の狭間で学生らは四苦八苦の試行錯誤を続けております。

今回のテーマレギュレーションは最小サイズ指定・最大重量指定などかなり厳しいことから、今年では設計・製作環境の大幅増強を敢行し、CAD/CAMによる効率化を行いました。副作用として学生らに品物の品質、精度といった「こだわり」がようやく目に見える形で現れ始めたように感じられます

(遅すぎる?)。これまでの闇雲に「作ってみる」という精神論からやや脱却し、材料を無駄にしなくなったのはありがたい(笑)。

今年も高学年チームと2年生低学年チームで挑みます。高学年チームは「富山の美味しい機巧塔(通称:ホンゴウ)」。良くわからないネーミングですが、速度制御3軸オムニホイールによる高機動ディフェンスロボと、飛距離15メートルの大出力ボール射出機構を備えた3メートル強の二足オフェンスロボが大変見ものです。低学年チームは「マジック・ハント」。木材を利用したリンク機構によって3メートル強の防御ネットを展開する軽量のディフェンスロボ、またカタパルト式のボール射出機構を備え、安定な歩行移動を目指した二足オフェンスロボの仕上がりを楽しみにしています。

最後になりますが、ロボコンに携わる先生方の多方面にわたる支援に感謝いたします。また同窓会からの多大な支援に対して厚く御礼申し上げます。地区予選はこれからですが、周囲の期待に応えるべく部員一同、両国国技館を目指して邁進してまいります。

平成23年9月

電気制御システム工学科 顧問 金子

ソフトテニス部 近況報告

現在、ソフトテニス部は5年生が4人、3年生が5人、2年生が4人、1年生が4人の計17人で活動しております。このメンバーで挑みました、今年の北陸地区高専大会では男子が団体で3位の成績を収めることができました。現在は来年の高専大会でのさらなる活躍に向け、毎日ボールが見えなくなるまで練習を行っております。限られた

練習時間の中で、1つ1つのプレイに真剣に取り組むこと、先輩後輩を問わずプレイに対し気づいたことは全員で課題を指摘し修正すること、また、何とんでもソフトテニスを楽しむことを大切にしています。

5年生が卒業すると低学年が中心のチームになります。現在、男女ともに部員を募集し、部のさらなる発展を目指しております。最後になりますが、同窓会からの多大な支援に対し、厚く御礼申し上げます。

ソフトテニス部顧問 中江 貴志



囲碁将棋部 近況報告

囲碁将棋部の活動状況について、まず高等学校の大会については、5月に行われた高等学校将棋選手権富山県大会では、男子団体の部で準優勝しましたが、惜しくも全国大会出場の機会を逸しました。男子部員は県大会ではいいところまでいきますが、最近全国大会に出場できていません。さらなる精進を重ねたいところです。女子の方は個人戦で優勝準優勝を分け合う結果で、最近は本校の独壇場といった感じです。全国大会にも出場しました。また囲碁の方も女子に有力選手がおり、全国高等学校囲碁選手権、高等学校総合文化祭に出場しています。全国でも上位入賞を目指してがんばっています。



女子個人戦で優勝した高村さん 右から二人目

また8月には、「第18回全国高等専門学校将棋大会」が、



富山県中小企業研修センターにおいて、8月22日（月）から24日（水）までの日程で開催されました。本校の主催で、プロ棋士中村修九段、井道千尋女流初段による指導対局や棋譜解説を交えて、運営面も含めて実り多い大会となりました。同大会では、男子は優勝校に競り負けて予選敗退でしたが、女子個人戦では高村咲也子さんが優勝し、地元開催の大会に花を添えました。

同窓会から活動補助を頂いて遠征にでかけたり、アマ強豪選手を招いて練習会を開いたりした成果が上がっていると思います。今後の活躍にご期待下さい。

【第18回全国高等専門学校将棋大会】

女子個人戦 優勝 高村 咲也子（環境材料工学科4年）

大会結果

【団体戦】優勝：函館、準優勝：鈴鹿A、3位：豊田、明石A

【男子個人戦】優勝：中川博人（鈴鹿）、準優勝：斉藤航輔（函館）、
3位：塩見竜平（米子）、松本光輝（明石）

【女子個人戦】優勝：高村咲也子（富山）、準優勝：金澤智美（函館）、
3位：柏木春香（群馬）、中村美南（函館）

富山高専本郷キャンパス主催、高等専門学校連合会後援、北日本新聞社共催

今夏開催の各種大会

今夏開催の各種大会（全国高専大会を除く）において、本校学生は日頃の練習の成果を十分に発揮し、下記のとおり優秀な成績を収めました。

【第44回近畿・東海・北陸・信越地区高等専門学校弓道大会】

個人の部 3位 毛利 学人（物質化学工学科2年）

第46回全国高等専門学校体育大会成績報告

8月13日(土)から9月4日(日)まで開催された標記大会において、本校学生は日頃の練習の成果を十分に発揮し、下記のとおり優秀な成績を収めました。

○陸上競技

男子総合 3位 富山高等専門学校

男子円盤投 2位 菅澤 康平（電子制御工学科5年）

男子4×400mR 3位 杉木 勇磨（情報工学科4年）・蝶 眞清（機械工学科5年）
・山田 賢弥（電子制御工学科5年）・石原 元気（情報工学科5年）



○柔道

男子団体 3位 富山高等専門学校（本郷）

女子個人の部 2位 白川 郁子

（環境材料工学科4年）

平成23年8月28日（日）に千葉県国際総合水泳場で開催された第17回全国高等専門学校水泳競技大会において、本校電気制御システム工学科1年の佐伯勇弥君が、男子200M自由形で優勝、男子400M自由形で3位入賞を果たしました。

富山高等専門学校本郷キャンパス所属の選手が全国高等専門学校水泳競技大会で優勝するのは、旧富山工業高等専門学校時代を含め、第二回大会（平成8年、八代市）以来15年ぶりの快挙となります。

○水泳

男子200m自由形 1位 佐伯 勇弥（電気制御システム工学科1年）

男子400m自由形 3位 佐伯 勇弥（電気制御システム工学科1年）

男子800m自由形 3位 坂上 侑弥（電子制御工学科4年）



写真右から3人目が佐伯勇弥君

同窓会会計報告

平成22年度 決算報告

収入の部

平成22年 4月1日～平成23年 3月31日

項目	決算額	摘要
繰越金	470,039	前期繰越
同窓会会費	1,220,000	会費10,000円×122名
その他	600,000	特別会計より繰り入れ
利息	182	普通預金
計	2,290,221	

支出の部

項目	決算額	摘要
総会費	184,766	11/6 開催
理事会費	72,458	6/26 開催
学生会助成費	60,000	部活動助成金
ロボコン助成費	50,000	ロボコン活動
渉外費	30,000	「全国高専同窓会連絡会協議会」出席
事務局運営費	30,000	事務パート代
会報発行活動費	763,532	会報誌「ほんごう」10月発行
定期協議会費	48,469	三者懇談会 9/2 開催
支部活動助成費	70,000	クラス会助成 7件
祝賀壮行会費	146,750	花・会場設営・会費 新クラス理事への助成金
講演会費	0	
負担金	90,000	技術振興会会費
ホームページ維持費	24,125	ホームページ更新・ドメイン利用料 レンタルサーバー料
会員名簿購入費	763,532	
予備費	20,000	全国高専体育大会(柔道大会) 広告賛助金
繰越金	100,121	次年度に繰り越し
計	2,290,221	

平成23年度 予算

収入の部

自平成23年 4月1日
至平成24年 3月31日

項目	予算額	摘要
繰越金	100,039	
同窓会会費	1,800,000	120人×15,000円
特別事業確立金からの繰入れ	200,000	
利息	100	
計	2,100,221	

支出の部

項目	予算額	摘要
総会費	200,000	
理事会費	100,000	常任理事会を含む
学生会助成費	130,000	クラブ活動等助成 高専祭、全国将棋大会
ロボコン助成費	60,000	2件分
渉外費	30,000	「全国高専同窓会連絡会」出席旅費
事務局費	30,000	
会報発行活動費	800,000	総会案内を含む
定期協議会費	50,000	三者懇談会費を含む
支部活動助成費	100,000	関東支部・クラス会助成
祝賀壮行会費	160,000	
講演会費	30,000	
負担金	100,000	技術振興会会費
ホームページ維持費	50,000	
予備費	260,221	東日本大震災義援金を含む
計	2,100,221	

編集後記

ホームページを立ち上げて、3年が経ちました。年に数回しか、更新していませんが、時々、送られてくる住所変更案内やパスワード希望のメールを見ると、多少なりと効果があったなと嬉しくなります。特に、この会報が、届いた1~2ヶ月位は、住所変更のメールがたくさん送られてきます。

ただ、掲示板への書き込みは、非常に少ないので、もっと利用して欲しいと思っています。例えば、クラス会やOB会を開催する案内に利用するとか、会社を経営されている方のPR用など、気軽に書き込んでいただくとありがたいです。

また、クラス会やOB会を開催された方は、info@tk-hongou13.netへ簡単な文章と写真を送っていただくと1万円の助成金を振り込みますので、どしどし利用してください。同窓生が、元気でがんばっていることが実感でき、楽しいホームページになると思います。

表紙にも案内してありますが、全体の同窓会を11月5日に行います。今年、卒業された方は、この場を利用して、クラス会をされれば、非常にお徳だと思っておりますが……。

(事務局担当 Mより)

同窓会ホームページを活用しよう！！

【ほんごう会ホームページの楽しみ方】

ほんごう会のホームページアドレスは

ほんごう会 <http://www.tk-hongou13.net/>

【会員専用ページ閲覧 ID とパスワード】

ユーザー ID : member

パスワード : passhongou13

なお、メールアドレスは
info@tk-hongou13.net です。



① 住所等、変更された方は、ここをクリックして連絡してください。パスワードの問い合わせも、できます。

② 懐かしい、『太刀の峯展け』のメロディーが流れます。

④ ここ、クリックして掲示板を閲覧。書き込みもお願いします。

⑤ 項目ごとに、懐かしい先生や旧友の写真が、載っています。順送りに見てください。

⑥ 今までの会報ほんごうのPDFデータが載っています。

⑧ 今年度の会計、事業計画 等です。

③ 会員の広場を、クリックして、パスワード等を入力。下の画面が、現れます。

アルバムをクリックすると今まで、投稿された写真が一覧で、現れます。



事務局をクリックすると左の画面になります。
ほんごう会に、出席された方々の表情豊かな写真が載っています。

